

マンスリータイム



学校分散スタートから順調よく

6月は、学校として段階を踏みながら、少しずつ集団の輪をひろげていく期間でした。児童生徒のみなさんは、クラス活動や教科学習、作業学習等にしっかり取り組んでいます。少し、雨が多い梅雨の時期、外で活動できない時も多いですが、誰も真剣に取り組む姿が印象的です。

中学部の生徒たちが植えたひまわり第1号が咲きました



今は、満開のひまわりたちです。

高等部作業学習の支援グッズ紹介



こんな袋ができあがります

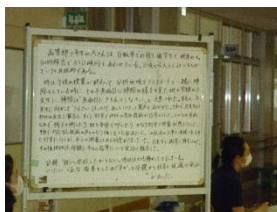
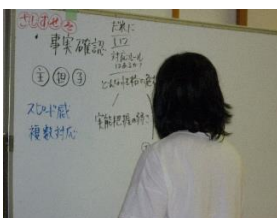
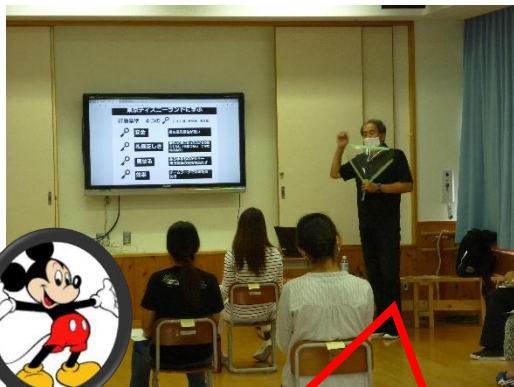
一人ひとりが役割を持って取り組める支援グッズです。製品として正確に仕上げることができるアイデアグッズです

全校の取り組み（感染症対策）

一斉登校に向けて校内では、消毒だけでなく環境づくりや応援体制を組んでいます。特に消毒はスクールバスの介助員の方、給食時は、自立活動の先生や寄宿舎の先生の応援もあり県内の支援学校最大の児童生徒数や職員数の中で、より安心して登校してもらえる環境づくりに努めています。

「基本研修」今年度の取り組み本格的スタート

今年度も、和歌山県学習指導支援アドバイザー「田中資則先生」に、本校の研修に携わって頂いています。この取り組みは、本校の人材育成の柱の1つとして若手職員を対象とした研修であり年間通じて計画しています。第1回目は、動画研修、第2回目は、「リスクマネジメント」についての研修でした。若手、中堅の先生たちも熱心に参加をしました。



東京ディズニーランドに学ぶこと

活発な意見が交わされていました。